

市民病院再整備事業にかかる説明会 議事概要

日時：平成 27 年 10 月 16 日（金）19:00～20:30

会場：横浜市立軽井沢中学校 体育館（来場者 91 人）

説明者：横浜市（医療局病院経営本部、環境創造局）

【主なご意見、ご要望等】（○：ご意見・ご質問 ■横浜市からの説明）

《新病院の機能・施設について》

- 感染症病棟の下水はどう処理するのか。災害時などにも病院機能が止まらないよう対策が必要だと思う。
- 感染症病棟からの排水は滅菌した上で下水道に流すこととする。不測の事態も見越して対応していきたい。
- 薬局ができる予定はあるか。
- 病院の中に別の経営主体の薬局が入ることは禁じられている。国も、かかりつけ薬局を持ってもらうという考えである。薬局のあり方については、患者さんの利便性も踏まえた仕組みづくりを考えていきたい。
- なぜニッパツ三ツ沢球技場の隣に建てるのか。
- 診療圏や連携する医療機関への影響などを大きく変えることができないことから、現在の場所を候補地とした。三ツ沢公園については都市計画公園であり、原則として面積を減らすことはできないため、今回は現病院跡地との交換とし、その上で民有地も含め病院に必要な面積を確保している。
- 民有地の買収にかかる費用はいくらか。
- 74 億円となっている。
- エネルギー棟とは何か。騒音の問題や、原子力を使用することはないのか。
- 電気や熱源を集中管理して病院に供給する施設となる。音はでるが、周辺に影響がないよう設計していきたい。エネルギー棟で原子力を使うことはない。
- 管理棟を別棟にしているのはなぜか。
- 病院全体として 6 万㎡を確保するため、医局や事務部門等医療機能をサポートする部分を管理棟として西区側に確保した。
- 前回の再整備から 30 年経っていない。今回の事業費は 426 億円だが、この金額をかけて再整備する必要があるのか。
- 前回の再整備は現地建替え方式で行った。病院機能を維持しながら順次建て替えたため、使い勝手が良くなく、機能拡充が難しい状況にあり、再整備を行うこととした。
- 緩和ケア病棟は最近できた建物である。市大センター病院のように古い部分も残して利用することも考えてはどうか。
- 緩和ケア病棟は将来の再整備を踏まえ経費を抑えて建てた。医療技術が急速に進歩する中でそのための設備更新も踏まえ、再整備を計画している。
- 病床数や患者数の計画に変更がないのに面積が増えるのはなぜか。
- 以前は入院患者の在院日数は 30 日程度だったが現在は 10 日程に短縮しており、同じ規模でも受け入れられる患者は 3 倍程度となっている。医療機能を拡充していくため、面積を増やしている。

《周辺環境への影響について》

- 救急車が通行することによる音対策について配慮してほしい。
- 救急車の進入路を三ツ沢交差点から近い場所に配置し、できるだけ住宅地を走行しないなどの配慮を検討する。
- 新病院の周辺道路が生活道路であることから、渋滞を発生させないように配慮してほしい。
- 病院利用者による渋滞等の発生することのないよう、敷地内に十分な台数の駐車場を整備することやスムーズな出入りできる道路形状等について、県警とも協議を進めるなど、引き続き検討する。
- 道路を拡幅するというが、どのあたりまで広げるのか。また現行の道路は湾曲し危険であるため、安全性を確保してほしい。
- 交通量調査を行ったうえで、道路形態について検討を行っている。反対側のバス路線のカーブがきつく、対向車があってもスムーズに曲がれるようカーブを緩やかにする。
- 新横浜通りの交通環境が今以上に悪化することはないか。
- 新横浜通りの交通量と、病院ができることで発生する交通量との差が大きいので、どのくらいの影響が生じるか数値的な把握が難しい。必要に応じて対応を図りたい。
- 三ツ沢交差点までは今でも渋滞しており、救急車が通れない状況である。計画をよく練ってほしい。
- 病院ができることによって生活道路を裏道として利用する人が増えることを危惧している。
- 生活道路を使わずに病院に来られるよう、タクシーやバスは県道から近い所から車を入れたいと考えている。一般車についても県警と協議を進めている最中だが、直線部分のなかで適切な進入場所について調整を図っていきたい。
- 交通渋滞解消のためにロータリーを作るというが、現病院のロータリーはほとんど利用されておらず、また駐車場も出入りに時間がかかるため周辺道路に停める人が多い。公開空地部分も道路にすべきではないか。
- 交通問題については、他にもご意見もいただいたので、それも含めて検討していく。
- 交差点のメインの信号からのカーブが短い。交差点に出て行く車よりも入ってくる車の距離が短いからかえって大変なのではないか。交通量も多いのではないか。
- 信号の停止線から病院入口までで約 100mである。交通量調査のデータでは、入ってくる車は約 1,190 台、出て行く車は約 2,400 台で極端な差はないと考える。
- 横浜方面からのバスが交差点を左折して病院入口まで距離が短い。横浜方面に抜ける車も多くバスが入口に入れなくなり、渋滞が発生するのではないか。三角地帯は無くせないのか。
- 三角地帯は交差点を制御するための重要な施設であるため、無くすのは難しい。

《工事について》

- 現在の古河電工社宅を取り壊す際は、詳細なスケジュールを説明して欲しい。
- 古河電工社宅は更地にしたいうえで引き渡しを受けることとなっているので、いただいた要望について伝えさせていただく。

《その他》

- 住民への説明回数や説明時間を確保してほしい。
- 近隣地域の実情に応じて、個別に説明するとともに、今後も、設計や施工の各段階において、十分な説明を行っていく。

日時：平成 27 年 10 月 17 日（土）10:00～11:30

会場：横浜市立市民病院がん検診センター 4 階講堂（来場者 96 人）

説明者：横浜市（医療局病院経営本部、環境創造局）

【主なご意見、ご要望等】（○：ご意見・ご質問 ■横浜市からの説明）

《新病院の機能・施設について》

- 便利施設（コンビニ等）については公園利用者も利用できるとのことだが、24 時間営業になるのか。また、その場合に外部利用者が病棟内に入ることはないか。
- 店舗は決まっていないが、2 4 時間営業を検討している。公園利用者の進入に関しては、設計のなかでセキュリティ対策を検討していく。
- 医療機能向上と言っているが、全科が機能向上することになるのか。
- 病院全体として高度急性期機能を向上させることを目指している。
- 現在、救急の際、市民病院で受入れが困難な場合、市大病院へ搬送されるが、再整備後は市民病院で診てもらえるようになるのか。
- 高度急性期医療に対応する病院として、救急医療の充実を図りたい。
- 病床数 650 床と変化はないが、機能は変わるのか。
- 病床数は同規模とするが、構成として集中治療室や救命救急センターなど、特化した病床を増やすことになる。医療の進歩などにより平均在院日数は短縮されているので、病床の回転を速くすることでより多くの患者さんを受け入れられるようにしたい。
- 病床数 650 床は変更しないのか。増えることを住民は期待していると思う。
- 制度上、病床数の規制があるため増床が難しく市全体として病床数を増やせるかどうかは、国の制度改革によるところになる。医療の進歩等により、入院期間が短くなっているため、同じ病床数でもより多くの患者を診ることができるようにはなっている。
- ロータリーに入るのは救急車、バス、タクシーのみで、一般車は直線部分から進入するということでよいか。
- 車輛の進入については県警とも協議しているところだが、救急車、バス、タクシーのみとし、一般車の進入は直線道路の範囲で検討している。
- 診療科が 33 科となっているが、今後診療科が減ることはあるのか。
- 標榜科に変更があったとしても、医療機能を減らすことは考えていない。
- エネルギー棟とあるが、騒音や排気による周辺への問題はないか。
- 電力の変電設備、非常用発電設備、熱源関係の設備を配置するため、機械の音は発生するが、防音対策をし、周辺環境への影響がないようにする。排気については基準があるので、クリアできるよう検討を進める。

《周辺環境への影響について》

- 交通渋滞を解消するために信号を新設することは考えていないか。
- 今のところ検討していないが、必要性が出てくれば警察とも協議していく。
- 夜間、病室の照明による影響はないか。
- 病棟の患者に関しては消灯時間が設けられることになる。現在も 22 時で消灯としている。
- 緑地部分の夜間の照明はどうなるのか。
- 防犯の観点なども踏まえ、地域の皆さんとも相談しながら検討していきたい。

- 三ツ沢総合グラウンドバス停は移動するのか。
- 交通局との協議により、三ツ沢総合グラウンドバス停は病院のロータリーのなかに引き込む形になる。次のバス停である宮ヶ谷バス停の位置は20mほど東側に移動することを考えている。バス停に停車しても車が通れるようバスベイを設け、交通の改善を図りたい。
- 現在、野球場前に路上駐車が多いが、解消されるのか。
- 路上の停車車両についてはこれまで把握していなかったもので、今後調査したい。
- バス路線は増えないのか。
- バス路線の追加については、病院建設の前に相鉄線の羽沢駅の開業が先行するので、そのような事情を踏まえながらバス事業者と調整を図りたい。
- 既存の循環バスの運行について、移転後も現病院跡地方面に向かう路線を残してほしい。
- 既存のバス路線を維持することや、さらなる交通アクセスの向上に向けた対応について、交通事業者とも協議を進めていく。
- バス停の増減、名称変更、時刻表の変更の際には、事前に近隣住民に情報を伝えてほしい。
- 交通局と話がまとまった後、説明の方法についても調整する。時刻表はインターネットでも公開されるが、自治会などを通じたお知らせも踏まえ、交通局と相談したい。
- サッカー開催時の混雑状況は把握しているのか。また、その際の三ツ沢交差点の混雑対策はどのようなのか。
- サッカーの試合開催後に渋滞するという状況は把握しているが、サッカーの開催時間帯と外来診療の時間帯は異なっており、病院が建つことによる影響は無いと考えている。ただし今回、三ツ沢交差点付近の道路拡張を行うため、サッカーの試合後の渋滞緩和にも一定の効果があると予測している。
- 新病院がニッパツ三ツ沢球技場近くになるが、応援の音などへの対応を検討してほしい。
- 患者の居室となる病室を南向きに配置することにより、球技場からの音への対策は一定程度可能と考えている。また、必要に応じて二重サッシ等の対策を講じていく。
- 現病院の近くでは、喫煙者が多い。新病院での喫煙対策はあるか。
- 多くの病院が敷地内禁煙となっており、がん診療連携拠点病院の条件にもなっているため、敷地内禁煙は整備後も変わらない。
- 渋滞を解消するために道路幅を広げるとのことだが、徒歩で横断する人がいて、サッカーの試合のときには警備員が交通整理している。横断する人のことも考えて検討してほしい。
- ご意見としていただいた。
- 既存のバス路線について、三ツ沢総合グラウンド入口が廃止されると、宮ヶ谷方面の方にとって不便になる。ロータリーに入る便と現状のバス停に停まる便の2パターンに出来ないか。
- ご意見を踏まえ、検討していく。

《工事について》

- 建設工事に関わる車両の出入口の安全性を確保してほしい。
- 建設工事にあたっては、十分に安全性に配慮するよう、事業者と調整する。
- 工事日程など詳細なスケジュールを事前に示してほしい。
- 設計終了後、工事日程が明らかになった時点で、近隣住民の皆様にも事前に知らせる。
- 平成28年から工事が始まるとのことだが、周辺家屋の事前調査はいつ行われるのか。
- 工事の説明会の際に、建物からの距離に応じてお願いさせていただくことになる。範囲につ

いては確定的なものはいえないが、その際に相談させていただきたい。

- 建設工事の期間には、古河電工社宅に住んでいる人の引越しや取り壊しも含まれているのか。
- 古河電工社宅部分の敷地については、平成 29 年夏頃までに横浜市に更地で引渡しを受けるとい話になっているので、平成 29 年夏頃以降の病院建設工事着工となる。その後の建設期間がお示したスケジュールになっている。
- 平成 28 年から解体作業が始まるということによいか。
- 解体工事については、別途、古河電工から説明があると理解しているが、その時期に工事が入るのは事実である。
- 古河電工社宅の解体時には粉塵や騒音が起きるはず。工事説明は行うよう伝えてほしい。
- 確実にお伝えする。

《その他》

- 古河電工からも情報を入れてもらえるようにしていただきたい。
- 古河電工にはお伝えさせていただく。
- 緑地（公開空地）については一般者も使えるとのことだが、ペットの散歩が多いと思うので、衛生面の対策は考えているか。
- 公開空地は一般開放することが条件になるので、誰でも使えることになる。利用者にはモラルをもって利用していただきたいが、管理の方法については状況に応じて順次検討していきたい。